

ヒメシロチョウ

Leptidea amurensis

チョウ目 シロチョウ科

カテゴリー

大分県 IB

環境庁 II



翅の形が狭長の小型のシロチョウで、九州では阿蘇・くじゅうの火山性高原の草原に生息し、草原上を低く、弱々しく飛ぶ。ツルフジバカマが食草。5月、7月、9月の年3回発生し、蛹で越冬する。おもな生息地である久住高原・飯田高原では、観光開発や草地改良などによって、高原のススキ草原が改変されたため、1980年代以降、急激に減少し、絶滅の危険性が高くなっている。

(写真・文：三宅 武)

県内分布 天瀬町，玖珠町，九重町，久住町，直入町，湯布院町，竹田市

分布域 北海道，本州，九州（熊本・大分）

アムール，朝鮮半島，中国